

Glass Processing ガラス施工

ガラスの精巧な切断と加工技術の『競演』

建築用板ガラスは江戸時代から使われるようになりました。現在、ガラスの使用は建築物の外壁部に使用されている窓ガラスが一般的ですが、内装材としての使用割合も近年増加しています。厚型化、大型化の傾向も強まっています。断熱性、遮音性の高い高機能ガラスも最近の「省エネルギー」の風潮と相まって注目されています。

競技概要

板ガラスとカラーガラスを用いて、戸建住宅に見立てた「家形」を制作することにより、ガラスの持っている特性（強度・装飾性等）を表現します。切断技術（曲線切断）と小口加工技術、組立装着技能を難易度の高いところにおいた課題としています。

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：森長硝子〕



第32回競技課題

森長 研光さん

プレッシャーに負けず
諦めない強い心を持って
頑張ってください。
結果も大事ですが後
悔しない事も大事だ
と思うので、悔いの無
いようにやり切る事が
大切です！



Point

課題に対する取組みの姿勢、段取り、作業手順を基礎にして、切断精度、加工精度、シーリング精度等を厳守した課題を作成。完成品にバランスある装飾美を演出することが求められます。